

みずほCustomer Desk Report 2016/07/29号(As of 2016/07/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.69 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.91	1.1072	116.19	0.9851	1.3232	0.7519
SYD-NY High	105.50	1.1121	116.83	0.9866	1.3250	0.7550
SYD-NY Low	104.48	1.1052	115.83	0.9794	1.3118	0.7488
NY 5:00 PM	105.28	1.1076	116.59	0.9809	1.3160	0.7506
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.265/14.765		△25RR		0.625	Yen Call Over
NY DOW	18,456.35	▲15.82	債券市場			
NASDAQ	5,154.98	15.17	日本2年債			
S&P	2,170.06	3.48	日本10年債			
日経平均	16,476.84	▲187.98	米国2年債			
TOPIX	1,307.00	▲14.67	米国5年債			
シカゴ日経先物	16,635	▲10.00	米国10年債			
ロンドンFT	6,721.06	▲29.37	独10年債			
DAX	10,274.93	▲44.62	英10年債			
ハンセン指数	22,174.34	▲44.65	豪10年債			
上海総合	2,994.32	2.32	為替市況			
USDJPY 3M Vol	12.58	0.25%	USD/CNH			
USDJPY 6M Vol	11.85	0.12%	ドルインデックス			
EURJPY 3M Vol	13.00	0.07%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	12.51	▲0.05%	CRB指数			
			NY金			
			WTI			
			Dubai Spot			

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月28日	8:50	対外・対内証券投資	-	-
	18:00	消費者信頼感・確報値	7月	-7.9
	18:00	景況感	7月	104.6
	21:00	消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	7月	0.3%/0.4%
	21:30	新規失業保険申請件数	7月	266K
				262K

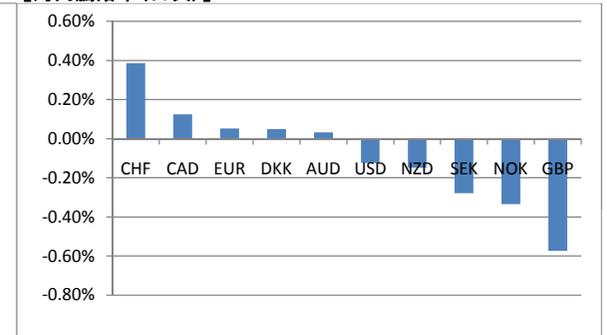
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月29日	8:30	全国CPI/コア/コアコア(前年比)	6月	-0.4%/-0.4%/0.5%
	-	日銀金融政策決定会合/展望レポート公表	-	-0.4%/-0.4%/0.6%
	15:30	黒田日銀総裁会見	-	-
	18:00	消費者物価指数(HICPコア)・速報値(前年比)	7月	0.8%
	18:00	GDP・速報値(前期比/前年比)	2Q	0.3%/1.5%
	18:00	失業率	6月	10.1%
	21:30	GDP/個人消費・速報値(前期比)	2Q	2.5%/4.4%
	21:30	雇用コスト指数	2Q	0.6%
	22:30	ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	22:45	シカゴ購買部協会景気指数	7月	54.0
	23:00	ミンガン大学消費者信頼感指数・確報値	7月	90.2
7月30日	2:00	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00-106.00	1.1020-1.1160	114.00-118.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場は上昇する展開となった。様子見ムードが強まっていたが、日銀が金融政策決定会合で追加の金融緩和を検討しているとの報道を受けて円売りが強まり、105.50円までドル円は上昇した。その後は調整が入り、105.28円でクローズした。本日は日銀金融政策決定会合の結果次第で、大きく振れる展開を予想する。市場では、追加緩和への期待感が強まっており、結果次第で乱高下することが予想される。東京時間早朝に一時103円台前半まで下落していることもあり、値動きを注視したい。

東京	東京時間のドル円は104.91レベルでオープン。前日FOMC後のドル売りの流れを引き継ぎ、ドル円は一時104.64まで値を下げる場面が見られたものの、その後特段材料が無い中、105.30まで急反発する展開。しかし翌日に日銀金融政策決定会合を控えて、積極的に上値を迫る地合でもなく、すぐに104円台に押し戻される落ち着かない値動きとなった。午後に入り、「本邦政府の経済対策、“真水”部分が7兆円規模との報道が伝わると、ドル円は一時105.06まで上伸するも、特段目新しい内容でもないとの見方から一時的な反応に留まり、その後は104円台後半で揉み合う展開となった。東京時間引けにかけて売り優勢の流れとなると、ドル円は一時104.48まで下落し、104.68レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は横ばい推移となった。104.68レベルでオープン後、翌日に日銀の金融政策決定会合を控え104円台半ばを中心に小動きとなった。オープンレベルとほぼ同じ104.69レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドドルはじり安の展開。1.3200レベルでオープン後、前日のFOMC声明文でFedが早急な利上げに踏み切る明確なシグナルがなかったためポンドドルは1.3216まで若干買われたものの、8月4日の英中銀による市場の利下げ観測は根強く上値は限定的となり、徐々に値を下げて1.3160レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.69レベルでオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が若干予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的となり、じりじりとドルが買い戻される展開に104.92まで上昇。その後はマクロ系の売りが持ち込まれているとの噂もあり104.69まで反落するが、午後に入り、「日銀は政府から具体的な緩和の手段を検討するよう圧力を受けている」とのヘッドラインが伝わったことから、翌日の日銀金融政策決定会合での緩和期待が強まり、ドル円は一時105.50まで買い戻される展開。終盤に掛けては調整からやや小振り、105.28レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1082レベルでNYオープン。朝方は1.1108まで上昇する局面があったものの、午後に入るとドル買いが優勢となり、1.1069まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジ内での推移が続き、1.1076レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。